

第 17 回あわら市都市計画審議会

議事要約

- ・ 日 時：平成 28 年 11 月 28 日（木） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 40 分
- ・ 場 所：あわら市庁舎 301 会議室
- ・ 出席者 委 員：

1号委員（会長）	川上 洋司
1号委員（副会長）	木下 勇二
1号委員	柳川 奈奈
2号委員	山田 重喜
2号委員	杉本 隆洋
2号委員	森 之嗣
2号委員	山本 篤
3号委員	三国土木所長 代理 千秋 佳徳
3号委員	北倉 芳忠
3号委員	波多野次夫
幹事	長谷川義則
事務局：建設課長	松永 豊
建設課 課長補佐	大味 雅彦
建設課 主任	細川 正樹
建設課 技師	池神 雄一
建設課 主事	坂森 俊太
新幹線推進課長	龍田 雅人
新幹線推進課 課長補佐	山本 紹央

改定あわら市都市計画マスタープランについて主な意見（要旨）

山 本 委 員	ダイジェスト版には、（都）南中央線（（県）トリムパークかなづ線）の記載がない。
事 務 局	計画書の P34, 35 に市街地幹線道路として位置づけている。
山 本 委 員	市民が MP で見るのは、ダイジェスト版であり、南中央線の整備を進めるうえで、ダイジェスト版にも記載する必要がある。
事 務 局	ダイジェスト版で記載できるように対応する。
山 田 委 員	市道金津芦原線と市道芦原金津線は一本の道路であるが、名称が分かれている。統一しないのか。
事 務 局	合併前の名称を引き継いだため分かれている。今後路線統一について検討する。
山 田 委 員	P27 の土地利用について、金津市街地には宿泊施設がないため、ビジネスホテルの誘致について、土地利用に記載できないのか。
事 務 局	P28 を見ていただくと、芦原温泉駅周辺は、多機能サービス地区になっており、こ

	の地区の土地利用により、ビジネスホテルの誘致に対応できると考えている。
川上会長	P27の多機能サービス地区の配置・誘導方針の中で、「交流機能」という記載を「交流宿泊機能」と置き換えることにより、対応するという考え方はできる。
山田委員	P33の幹線道路のうち、林道市野々刈安線の記載があるが、林道ならば劔ヶ岳線のほうが幅員も広く、幹線として機能するのではないか。
事務局	林道劔ヶ岳線はまだ整備されていないのではないか。
北倉委員	林道劔ヶ岳線は基幹林道であり、平成30年頃に開通予定である。
事務局	林道劔ヶ岳線については検討します。
山田委員	P60で、劔岳地区、青ノ木宮谷地区の農業集落排水は公共下水道に接続する計画があるのではないか。
事務局	計画はまだ確定でないため、P60の(2)下水道の整備方針に、「農業集落排水処理施設については、将来的な公共下水道計画区域への編入など、事業の健全化を目指します。」と記載により、接続する計画を進めていく。
山田委員	劔岳地区は接続する計画が決まっているのではないか。
事務局	上下水道課ともう一度調整する。
川上会長	あわら市の下水道普及率はどのくらいか。
事務局	現在手持ち資料がない。
川上会長	下水道普及率は現在の状況として記載したほうがよい。
柳川委員	金津三国線の開通はいつか。
事務局	平成30年度の予定であるため、平成31年4月になると思う。
川上会長	今回の改定の大きなものは、立地適正化計画に関係したものである。人口減少社会に当初の計画にもコンパクトシティということは謳われていたが、今回の改定で明確にしている。 P30ページの用途地域の見直しについても、立地適正化計画に合わせて見直すことが記載されており、このことが重要になってくると思われる。
川上会長	今回数か所の修正を加える箇所があったが、この修正により都市計画審議会として了解したということにしたい。

あわら市立地適正化計画の策定についての主な意見（要旨）

都市計画マスタープランに関連する意見のみ

柳川委員	先ほどの都市計画マスタープランの説明の中で、芦原温泉駅周辺は多機能サービス地区に位置付けられ、立地適正化計画では、都市機能誘導区域に指定されているが、用途地域を見ると工業地域や住宅地域であり、ビジネスホテルを建てるとしても商業地区である駅前周辺しか建てることできない。
木下委員	都市計画マスタープランのP30に新規機能の受皿の確保として、「交通結節機能、都市機能を導入します。」と記載があり、土地利用を見直すことができる。
川上会長	多機能サービス地区、都市機能誘導区域であるといって、現在の用途地域を変える必要はなく、用途地域の区分の中で土地利用を進めればよいと思う。